

研究協力をお願い

昭和大学では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

医療系学生を対象とした高齢者とのコミュニケーション能力向上を目指した SP 参加型カリキュラムの構築とその学修成果の評価に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

研究対象者は、2022年度に「高齢者コミュニケーション演習」を受講した医・歯・薬学部3年生、保健医療学部2年生です。2022年9月1日から2022年12月31日までに、上記演習終了後に実施したアンケートおよび自己省察レポートを研究の対象とします。

研究対象期間は、2022年度9月1日から2022年12月31日までです。

2. 研究目的・方法

学部連携「高齢者コミュニケーション演習」は、在宅チーム医療の担い手に求められる高齢者や家族に寄り添うコミュニケーション能力を培うために、対象者の思いを聴き取る能力を修得するための模擬患者(以下、SP)参加型演習です。本研究は演習に取り組んだ医・歯・薬学部3年生、保健医療学部2年生を対象に、SP参加型演習の有用性およびレポートのテキストマイニング分析からどのような学びが得られたか明らかにすることを目的とします。

方法：演習終了後の学生を対象にアンケート調査(Google Forms)を行い、SP参加型演習の有用性を4件法で評価します(主要評価項目)。記述統計と共に、4件法の回答に「とても思う(4点)、やや思う(3点)、あまり思わない(2点)、まったく思わない(1点)」と点数を付与し、学部及び性別にておいて単変量解析(Steel-Dwass検定、Mann-WhitneyのU検定など)で比較検討します。また、アンケートの自由記述および自己省察レポートをテキストマイニング分析することでどのような学びが得られたか明らかにします。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

<演習後アンケート内容>への回答を資料とします。

基本情報：学部、性別

問1 演習の実施方法について伺います。(作戦タイム+ロールプレイ+フィードバック)×3人の演習の流れは良い。

問2 演習の実施方法について伺います。グループでの作戦タイムは有効であった。

問3 ロールプレイの動画は、振り返りに有効であった。

問4 ルーブリック評価表はパフォーマンス目標として適切であった。

問5 高齢者コミュニケーション演習に能動的に取り組めましたか。

問6 在宅患者が置かれた状況や心理状態に配慮した対話ができましたか。

問7 在宅患者の「日常生活」「不安」「思い」を理解することができましたか。

問8 SPさんからのフィードバックは気づきとなりましたか？

問9 本演習は「コミュニケーション能力」習得に有意義な演習であった。

問10 事前オリエンテーションにおける臨床心理学の講義はコミュニケーション能力習得に有意義な講義であった。

問11 高齢者コミュニケーション演習について感じたこと、思ったことがありましたら自由に書いて下さい。(短文回答の自由記述)

(問1~10は「とても思う、やや思う、あまり思わない、まったく思わない」の4件法)

アンケートの自由記述および提出されたレポートを資料としてテキストマイニングによる分析を行う。

<レポート内容>

今回行った高齢者コミュニケーション演習のロールプレイについて、以下の設問に答えて下さい。

【設問1】自身がロールプレイを実施した際、患者役やオブザーバーから受けたフィードバックを踏まえ、患者役から上手くナラティブを引き出せたところはどこであったか述べて下さい。また、なぜナラティブを上手く引き出したのかについても述べて下さい。(400字以上)

【設問2】患者のナラティブを引き出す機会を作れなかったのはどんな部分か、どうしてそれができなかったのか、そしてどんな工夫をすれば引き出すことができたのか？今後につながる自己省察をして下さい。(500字以上)

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 薬学部臨床薬学講座薬物治療学部門 氏名 大林真幸

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の皆さんにご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の皆さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 薬学部臨床薬学講座薬物治療学部門

氏名：大林真幸

住所： 品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 03-3784-8221

